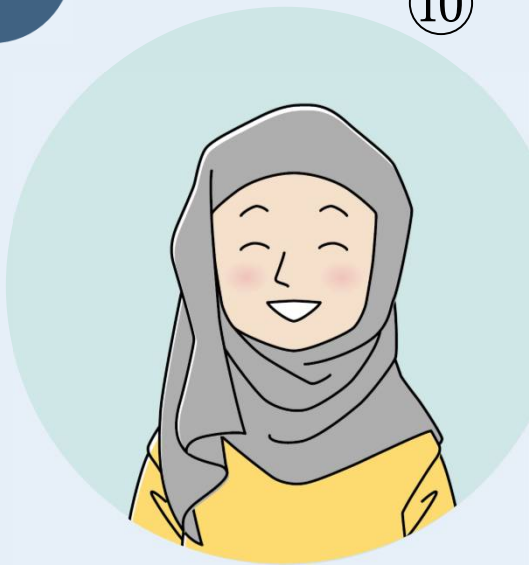




How to

多文化共生のまちづくり

外国人住民とともに よりよい地域をつくる



はじめに

1 町会役員

来月のおみこしの担ぎ手が足りないな。

外国人住民が増えてきたので、声をかけてみましょうか？

PTA役員

2

でも、外国語はできないよ。

普段の活動も忙しいし...

3

簡単な日本語ならわかる人も多いですよ！まずはチラシを多言語化してみましょうか？

パソコンで簡単にできますよ。

4

町内に多言語化したチラシを掲示し、小学校でも配布してもらいました。

後日...

掲示板

こどもみこし
Children's Mikoshi Parade

7月14日(曜日) 午前9時30分～午後3時前(予定)
近藤小学校正門前(予定)
Date: 14th July (Sun) 9:30 - 15:00 (TBC)
The parade starts from the Elementary School

5

おみこし当日...

外国人住民がおみこしを担いでくれて助かったよ。

6

外国人住民がおみこしを担いでくれて助かったよ。

7

みなさんも外国人住民とともに地域を盛りあげてみませんか？

外国人住民

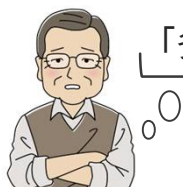
詳しくは次のページから！

目次

- 「多文化共生のまちづくり」とは 2
- どんな地域にしたいですか？ 5
- 「理解」に役立つツール 7
- 「参加」「交流」の取組事例 8
- お役立ち情報 21

「多文化共生のまちづくり」とは

近年、日本各地では少子高齢化・人口減少により、地域活動の担い手不足が課題となっています。
一方、外国人住民数は増えており、今後もますます増加することが見込まれます。
みなさんの地域をより良くしていくために、これから外国人住民に地域活動に関わってもらいませんか？



「多文化共生のまちづくり」って何？ 外国人住民を支援すること？

地域の住民が、国籍にかかわらず、みんなで地域を活性化して、
だれもが安心・安全に暮らせる、より良い地域をつくっていくことです。
まずは、外国人住民に地域活動に参加してもらい、日本の文化やマナーにふれてもらいましょう。



なにか難しいことをしなければいけないのでは？ 大変そう…

まずは、既存の地域活動に小さな工夫を加えるだけで大丈夫です。
地域の状況にあわせて、できることから始めてみませんか？

※この冊子における「外国人住民」とは、「外国にルーツを持ち、日本語や日本の文化になじみの少ない住民」のことです。

外国人住民の声

外国人住民は、地域についてどのような思いを持っているのでしょうか？



中国・30代
パート社員

子どもがいるので、近所で子育ての相談ができる日本人の知り合いがいると心強いです。学校のことなどを教えてもらいたいです。



パキスタン・40代
外国料理店経営者

商店街の方々は親切です。地域の日本人に、もっとたくさん店に来てもらい、母国の味を知ってもらいたいです。



ベトナム・30代
会社員

おまつりなど日本の文化に関心があります。平日は仕事をしているので、土日に関心のあるイベントがあれば家族で参加したいです。



インドネシア・20代
留学生

日本の大学に進学して、日本で働くために、日本語学校に通っています。地域みなさんと交流して日本語を習得したいです。

外国人住民の多くは、地域住民との交流や日本文化に関心があります。

まずは、外国人住民が地域活動に参加できるように、みなさんから声をかけてみませんか？

「多文化共生のまちづくり」のステップ

「多文化共生のまちづくり」はどのようなステップで進めるとよいでしょうか？

まずは簡単なことから始め、少しずつ広げていきましょう。

時間がかかることなので、何年かかけて取り組んでいきましょう。

ステップ 1



理解

外国人住民を知る

- 地域に住む外国人住民について知る
- 外国人住民と話してみる

小さなことから始めましょう！

- 外国人住民との「コミュニケーションのコツ」動画視聴

ステップ 2



参加

外国人住民を誘う

- 外国人住民に地域活動への参加を呼びかける
- 外国料理店・企業・日本語学校などに協力してもらう

簡単なことをやってみましょう！

- チラシの多言語化
- 外国のお菓子・料理の紹介

ステップ 3



交流

外国人住民に手伝ってもらう

- 外国人住民に地域活動の役割を担ってもらう
- 外国人住民と一緒にイベントを企画する

少しずつ広げていきましょう！

- チラシ翻訳やアナウンスの依頼
- イベントでのブース出展

将来的には
外国人
住民も
地域活動の
担い手に



どんな地域にしたいですか？

はじめに、地域の課題と目標を考え、みなさんで共有しましょう。

？ どのような外国人住民が増えていますか？

例) ベトナム出身の働き手
ネパール出身の留学生



？ なにか困っていること・不安なことはありますか？

例) ごみ出しのルールがわかっていないようだけど、どうやって注意したらよいかわからない
おまつりやもちつきの準備が大変で、人手が足りない



？ これからどのような地域にしたいですか？

例) 若い人にもっと地域活動に関わってもらい、まちを盛りあげたい
商店街を活気づけたい



次に、地域の状況を確認してみましょう。

② 外国人住民に声をかけるために連携できる機関※はありますか？



小中学校・保育施設

事例 1～3, 5

外国料理・食材店

事例 6, 7

外国人材を雇用する
地域の企業

事例 8, 9

日本語学校

事例 10～12

③ 地域には、どのような活動がありますか？

ふれあい喫茶・
体操

事例 1, 10

おまつり

事例 2, 3, 9, 11

防災訓練

事例 4

もちつき・
料理教室など

事例 5, 7

朝市・
マルシェ

事例 6

学習支援

事例 12

※ 連携先や活動が思いつかない場合は、
大阪市民活動総合ポータルサイト
(シミポタ)で団体を検索してみましょう。





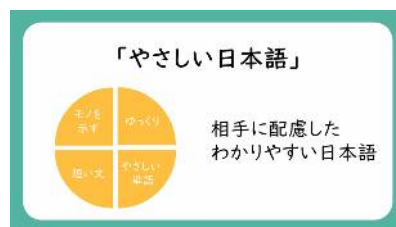
「理解」に役立つツール

「多文化共生のためのコミュニケーションのコツ」動画

大阪市市民局のYouTubeで、「多文化共生のためのコミュニケーションのコツ」動画(約10分)を公開しています。

地域でよく見られる4つのシーンを想定し、実際の会話例を交えながら「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションのコツを紹介しています。

また、翻訳アプリの使い方を紹介する動画も公開しています。



活用方法

ふれあい喫茶や体操など、地域のイベントの合間に動画を視聴してみましょう。

ちょっとした時間でも「多文化共生」の理解につながります。



ふれあい喫茶での動画視聴



多文化共生のための
コミュニケーションのコツ
～地域に住む外国にルーツを
持つ方々に話しかけてみませんか～
＊分割版もあります



多文化共生のための
コミュニケーションのコツ
～「翻訳アプリ」を使ってみませんか？～



「参加」「交流」の取組事例

	No.	タイトル	参加 	交流 	ページ
外国ルーツの 家族とともに	1	ひなまつりで外国ルーツの家族とふれあう	●		9
	2	外国ルーツの家族が「みこし」に参加	●		10
	3	夏まつりに多文化要素を加える	●		11
	4	外国人住民と共同避難生活に備える	●	●	12
	5	中国人住民が「もちつき大会」のチラシを翻訳	●	●	13
外国料理店 とともに	6	外国料理店が商店街を盛りあげる	●	●	14
	7	「料理交流会」で外国人住民と協同する	●	●	15
地域の企業 とともに	8	ベトナム人従業員が地域定例会に参加	●		16
	9	外国人従業員が「やさしい日本語」ブースで交流	●	●	17
日本語学校 とともに	10	留学生と防災学習ゲームで交流	●		18
	11	留学生が自国紹介ブースを出展	●	●	19
	12	留学生が学習支援活動でボランティア		●	20

外国ルーツの家族とともに

ひなまつりで外国ルーツの家族とふれあう（西成区）



背景

北津守には、近年、中国などから新たに来日した子育て世帯が移り住んでいます。地域住民との関わりはあまりありません。そこで、地域住民と外国人住民が、日本文化を一緒に楽しむ小さなイベントを開催することにしました。

取組内容

- …… チラシの多言語化
▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照
- …… 保育施設などへのチラシ配布依頼
- …… 実施準備(ちらし寿司弁当・ゲーム用品)
- 当日 クイズ・ゲーム、ひな人形工作・折り紙など



多言語チラシ

取組の成果

地域住民にとって、地域で暮らす身近な外国人住民を知る機会に、外国人住民にとって、地域活動や町会についての理解を深める機会となりました。



ひなまつり

参加者 地域住民 2世帯
外国人 5世帯

参加者の声

普段接点のない外国人の家族と話ができ楽しかったです。



日本人住民

地域活動について知ることができて良かったです。これから地域活動に参加したいです。



中国出身の住民

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

外国ルーツの家族とともに

外国ルーツの家族が「みこし」に参加（西成区）



背景

北津守では、毎年夏に「こどもみこし」を実施しています。今年初めて、みこしの乗り手・担ぎ手の募集チラシを多言語化して、外国にルーツを持つ児童とその保護者に参加を呼びかけることにしました。

取組内容

- …… チラシの多言語化
 - ▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照
 - …… 小学校・保育施設などへのチラシ配布依頼
- ↓
- 当日
- +αの工夫
- イベントの様子がわかるようにチラシに過去のイベントの写真を加えました。



多言語チラシ

取組の成果

初めて外国ルーツの児童2名がみこしの乗り手となり、保護者も参加してくれました。日本人住民と外国人住民が声を掛け合い、交流が広がりました。



みこし

参加者 地域住民 約300人
外国人 17人

参加者の声

多言語チラシによって初めて外国ルーツの児童が参加してくれてよかったです。



日本人住民

子どもがみこしの乗り手になり、よい思い出になりました。次は私もみこしを担ぎたいです。



中国出身の住民

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

外国ルーツの家族とともに

夏まつりに多文化要素を加える（西成区）



背景

地域の小学校で毎年夏に「子どもカーニバル」というおまつりが開催されます。今年は、外国人住民も参加しやすい環境を作り、また日本人住民が外国文化にふれる機会を作る工夫をしました。

取組内容

- …… チラシの多言語化
▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照
- …… 小学校・保育施設などへのチラシ配布依頼
- …… 中国人住民への外国語アナウンス依頼
- …… 輪投げブース・景品の準備

当日



取組の成果

イベントのチラシや場内のアナウンスを多言語にし、また輪投げブースの景品として外国のお菓子や小物を渡したことで、多文化の雰囲気が感じられるおまつりになりました。



参加者 地域住民 約300人
外国人 12人

参加者の声

多言語のチラシや外国語のアナウンスがあったので、外国人住民も参加しているとわかりました。



日本人住民

外国語のアナウンスをしました。緊張しましたが、役に立てたならうれしいです。



中国出身の住民

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

外国ルーツの家族とともに

外国人住民と共同避難生活に備える（西成区）



背景

西成区では、定期的に区内各地で防災訓練を行っています。これまでの訓練に外国人住民が参加したことはありませんでしたが、町会や区役所と相談し、今回初めて外国人住民にも参加を呼びかけることにしました。

取組内容

- …… 町会役員（地域の防災担当）、区役所担当者との事前調整
 - …… 外国人住民参加者の募集
 - …… 防災ガイド・リーフレットなどの資料の準備
- ↓
- 当日
- +αの工夫 訓練のはじめに地域住民・外国人住民が自己紹介をする時間を設けるとよいでしょう。



取組の成果

中国人住民3人が、地域住民と一緒に避難訓練に参加し、炊き出しの仕方や備蓄品を確認しました。外国人住民も含め、避難生活をするについて考えるきっかけになりました。



参加者	地域住民	17人
	外国人	3人

参加者の声

参加した中国人住民は日本語がわかるので、日本人住民とのつなぎ役になってもらいたいです。



日本人住民

日本は地震が多いので不安でした。日本に来て初めて訓練に参加し、勉強になりました。



中国出身の住民

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

外国ルーツの家族とともに

中国人住民が「もちつき大会」のチラシを翻訳（西成区）



背景

毎年冬に行われる「もちつき大会」では、地域住民につきたての餅や豚汁などを提供しています。今回は、中国人住民にも、イベントのチラシ翻訳や広報を手伝ってもらい、地域活動の役割を担ってもらうことにしました。

取組内容

…… 中国人住民へのチラシの翻訳依頼
…… 小学校・保育施設などへのチラシ配布依頼
↓
当日



中国人住民が翻訳したチラシ

取組の成果

中国語のチラシを見て、地域の中国人住民がたくさん参加し、もちつきを体験しました。また翻訳を担当した中国人住民と町会の役員がつながりました。



もちつき

参加者 地域住民 約300人
外国人 15人

参加者の声

イベントを周知することが大事だと思います。今回のような多言語チラシを広げていきたいです。



日本人住民

ポストに入っていた中国語のチラシを見て来ました。中国の食文化に似ていて、面白かったです。



中国出身の住民

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

外国料理店とともに

外国料理店が商店街を盛りあげる（港区）



背景

南市岡には、外国料理店が多くあり、商店街は地域の活性化に取り組んでいます。今回、ネパール・ベトナム・ミャンマー・台湾にゆかりのある4つの外国料理店などに出演してもらい、「多文化マルシェ」を実施しました。

取組内容

- …… 商店街の関係者との事前調整
- …… 外国料理店への出演依頼
- …… チラシの多言語化・配布
 - ▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照

当日

+αの工夫

来場者に外国語のあいさつ缶バッジを配り、外国料理店の方々と話すきっかけにしました。
* あいさつカードなどでも代替できます。



多言語チラシ



缶バッジ

取組の成果

多くの地域住民が参加し、めずらしい外国料理を楽しみ、外国文化に触れるきっかけになりました。
外国料理店が商店街を盛りあげる力になりました。



外国料理店ブース

参加者 地域住民 約60人
外国人 8人

参加者の声

外国人住民の方々と話し、楽しかったです。これからもっと積極的に関わりたいです。



日本人住民

ミャンマー料理に関心を持ってもらえて嬉しかったです。またイベントに参加したいです。



ミャンマー料理店関係者

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

外国料理店とともに

「料理交流会」で外国人住民と協同する（港区）



背景

外国料理に関心のある日本人住民と外国料理店の方が中心となり、お互いの食文化を知るイベントを企画しました。地域から参加者を募り、みんなで「お正月」をテーマに日本のお雑煮と台湾の湯圓（タンユエン）を作ることにしました。

参加者	日本人	16人
	外国人	17人

参加者の声

台湾のお正月について話を聞き、台湾に行ってみたくまりました。



日本と外国の料理と一緒に作り、楽しかったです。今後も地域の方々と交流を深めたいです。



取組内容

- …… 日本人住民と外国人住民の打合せ
- …… チラシの作成・配布
- …… 参加者募集
- …… 実施準備（食材・調理器具）

当日



チラシ



取組の成果

日本人住民と外国人住民が4つのグループに分かれ、一緒にお雑煮と湯圓（タンユエン）を作りました。協同作業の中で、たくさん会話をし、交流を深めることができました。



事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

地域の企業とともに

ベトナム人従業員が地域定例会に参加（生野区）



背景

日中、企業で働いている外国人住民は、あまり近所づきあいがありません。今回、地域の企業の協力を得て、ベトナム人従業員に、まちづくり協議会(※)の定例会に参加してもらうことにしました。

(※) 町会や社会福祉協議会などが中心となって地域課題に取り組む「地域活動協議会」を生野区では「まちづくり協議会」とよんでいます。

取組内容

…… 地域の企業への協力依頼
…… 事前打合せ
↓
当日
ベトナム人従業員による自己紹介、お菓子の紹介



取組の成果

ベトナム人従業員とまちづくり協議会の方々は、子どもが同じ小学校だったり、好きなお店が同じということがわかり、お互いに親近感を持つことができました。



参加者	地域住民	15人
	外国人	2人

参加者の声

初めて外国人住民と話をしましたが、気さくな方だとわかりました。



地域のイベントを知ることができたので、今度子どもと一緒に参加したいです。



事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

地域の企業とともに

外国人従業員が「やさしい日本語」ブースで交流(生野区)



背景

北異では、住民同士の交流を目的とした秋まつり「わっしょい♪北異！フェス」を開催しています。今回、外国人従業員が「やさしい日本語」を使って地域住民とふれあい、話をするブースを出展することにしました。

取組内容

- …… 地域の企業への協力依頼
- …… 事前打合せ
- …… イベント主催者との連絡調整
- …… チラシの多言語化・配布
 - ▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照

当日



多言語チラシ



参加メンバー

取組の成果

ブースを訪れた地域住民が、関西弁を「やさしい日本語」に言い換えて、外国人従業員と楽しく交流しました。外国人従業員が地域活動に関心を持つきっかけにもなりました。



ブースでの交流

参加者 (ブース来場者)	地域住民	30人
	外国人	6人

参加者の声

外国人住民が地域イベントに参加してくれると、地域が盛りあがると思います。



日本人住民

関西弁はあまりわからなかったのですが、教えてもらって楽しかったです。



外国人従業員

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

日本語学校とともに

留学生と防災学習ゲームで交流（生野区）

参加



交流



背景

日本語学校の留学生は、普段はあまり地域住民とふれあう機会がありません。そこで、地域の会館で毎月実施される「おやじカフェ」で、防災学習ゲームを行い、交流を深めることにしました。

取組内容

…… 主催者との連絡調整

…… 防災学習ゲーム「OSAKA防災タイムアタック」(※)準備

…… 災害に関する資料の作成

当日 自己紹介、防災学習ゲーム



防災クイズ



(※) 大阪市立総合生涯学習センターと神戸学院大学が共同開発したゲームです。いちようネット(大阪市生涯学習情報提供システム)からダウンロードできます。

取組の成果

当日は、地域住民と留学生がグループごとに、協力してゲームに挑戦しました。地域住民は留学生に、防災の知識を身ぶり手ぶりで伝え、盛りあがりました。



グループごとの交流

参加者	地域住民	10人
	外国人	8人

参加者の声

留学生は勉強熱心で素直なので、すぐに地域の人たちとなじんでくれました。



日本人住民

災害に対して何を備えればよいか知りました。地域の方からいろいろ学びたいです。



留学生

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

日本語学校とともに

留学生が自国紹介ブースを出展（生野区）



背景

北異では、近隣のまちづくり協議会と合同で、「あそ防祭！まな防祭！」という大きな防災イベントを開催しています。今回、地域の日本語学校の協力を得て、留学生が自国を紹介するブースを出展することにしました。

取組内容

- …… 日本語学校への協力依頼
- …… イベント主催者との連絡調整
- …… チラシの多言語化・配布
▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照
- …… 事前打合せ



留学生との事前打合せ

当日

+αの工夫

留学生には、写真や民族衣装などを持参してもらい、わかりやすく自国を紹介してもらいました。

取組の成果

ブースを訪れた多くの地域住民が、留学生の出身国の文化を知り、自分の名前を外国語で書いてもらうなどして、留学生と楽しく交流しました。



自国文化の紹介

参加者 (ブース来場者)	地域住民	51人
	外国人	4人

参加者の声

留学生からいろいろとイベントのアイデアを出してもらいたいです。



日本人住民

近所の人と仲良くして、災害時も助け合える関係を作りたいです。



留学生

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11

事例 12

日本語学校とともに

留学生が学習支援活動でボランティア（浪速区）

参加

交流



背景

浪速では、地域の子育て世帯などに対する様々な支援活動があり、若いボランティアの力が必要です。そこで、小中学生向けの学習支援活動にボランティアとして関わる留学生を募集することにしました。

取組内容

- …… ボランティア募集チラシの多言語化
▶ 22ページ「チラシの多言語化の方法」参照
 - …… 募集説明会の実施
- ↓
- 当日

+αの工夫

留学生の理解を促すため、中国語・ベトナム語の通訳を入れました。



多言語チラシ

取組の成果

ベトナム出身の留学生が、ハロウィンイベントで子どもたちの見守りをしました。また、キルギス出身の留学生が、子どもたちに自国の文化を紹介しました。



学習支援ボランティア

参加者	地域住民	40人
	外国人	2人

参加者の声

子どもたちは、留学生にもすぐに打ちとけます。留学生が今後も活動に関わってくれるとうれしいです。



日本人住民

地域の子どもたちとふれあうことは、私たち留学生にとってもよい機会です。



留学生

お役立ち情報

よくあるお悩み

「多文化共生のまちづくり」はすぐに上手くいくことばかりではありません。少しずつコミュニケーションをとっていきましょう。



地域住民が外国人住民に対して
不安を抱いている

外国人住民についての情報が足りないのかもしれませんが、人となりを知ると不安がなくなり、親しみが持てます。回覧板などで外国人住民を紹介するのもよいですね。



外国人住民にも声をかけたのに、
イベントに参加してくれない

外国人住民も、仕事や家庭生活が忙しいので、イベントは土日の日中の2時間くらいがよいかもしれません。日本文化を体験できるイベントは関心が高いようです。



外国人住民が連絡なく、
イベントに遅れたり、欠席したりする

日本と外国では文化・習慣が異なり、遅刻や欠席もあまり失礼なことと認識していないかもしれません。「遅れる場合や来られない場合は、事前に連絡してほしい」と伝えてみましょう。



町会費を払ってもらえない、
町会の役割を引き受けてもらえない

外国には町会がないところが多く、しくみや役割を理解できていないのかもしれません。何人かの外国人住民に同時に説明すると理解が進み、参加しやすくなるでしょう。

チラシの多言語化の方法

外国人住民の中には、地域での交流に興味があるけど、イベントについて知らないという人も少なくありません。まずは、チラシを多言語化してみませんか？

たったの4ステップで
多言語化！



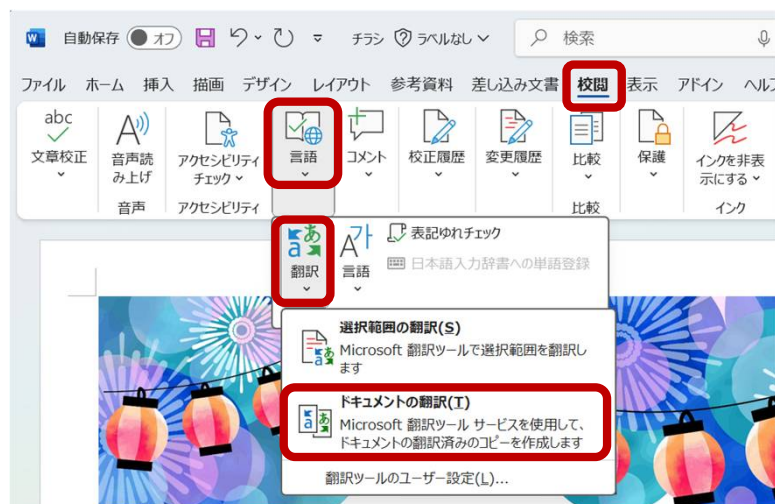
ステップ1 Word/PowerPointで日本語のチラシを開きます。

※あらかじめ、日本語をわかりやすい文章にします。
※ふりがなは、付けないでください。

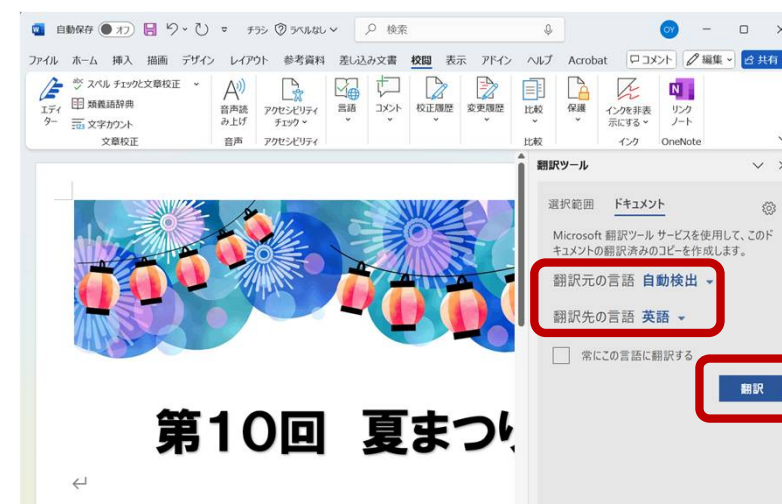
(例) × 雨天順延 → ○ 雨の場合は、10日に延期します。

(例) × 小学校 × 小学校(しょうがっこう)

ステップ2 「校閲」タブから「言語」、「翻訳」、 「ドキュメントの翻訳」をクリックします。



ステップ3 翻訳元・翻訳先の言語を設定し、 「翻訳」ボタンを押します。



ステップ4 フォントの大きさや配置を整えれば、完成です。

ポイント

活動内容や雰囲気を伝えるために、イラストや過去のイベントの写真を載せることをおすすめします。
また参加しやすいように「お金はかかりません」「だれでも参加できます」などと追記するとよいでしょう。

その他

外国にルーツを持つ方々と楽しむアイスブレイクゲーム

外国人住民の方々とアイスブレイクゲームで仲良くなりましょう。

別冊「多文化共生のまちづくり 外国にルーツを持つ方々と楽しむアイスブレイクゲーム」では、日本語が話せなくてもできるものから、日本語で相互理解を深めるものまで、全部で15種類のゲームを解説しています。

大人から子どもまで楽しむことができるので、地域のイベントでやってみませんか。

たぶん かきょうせい

多文化共生のまちづくり

外国にルーツを持つ方々と楽しむ
アイスブレイクゲーム

もくじ

レベル1 (日本語が話せない方との交流向け)	レベル2 (日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)	レベル3 (日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)
1 腕相撲	1 アレンジジャンケン	1 わたしはこんなひと
2 豆うつし	2 ニックネーム決めゲーム	2 はじめまシンキング
3 パスデーチェーン	3 テーマクイズ	3 共通点ビンゴ
4 紙飛行機飛ばし	4 新聞紙タワー	4 ウソ?ホント?ゲーム
5 新聞紙バスサッカー	5 みんなにさいてみよう	5 積み重ね自己紹介

3 テーマクイズ

イベントのテーマに合わせたクイズをすることで、参加者の意識づくりをし、イベントの実施効果を高めます。

所要時間

約 15分

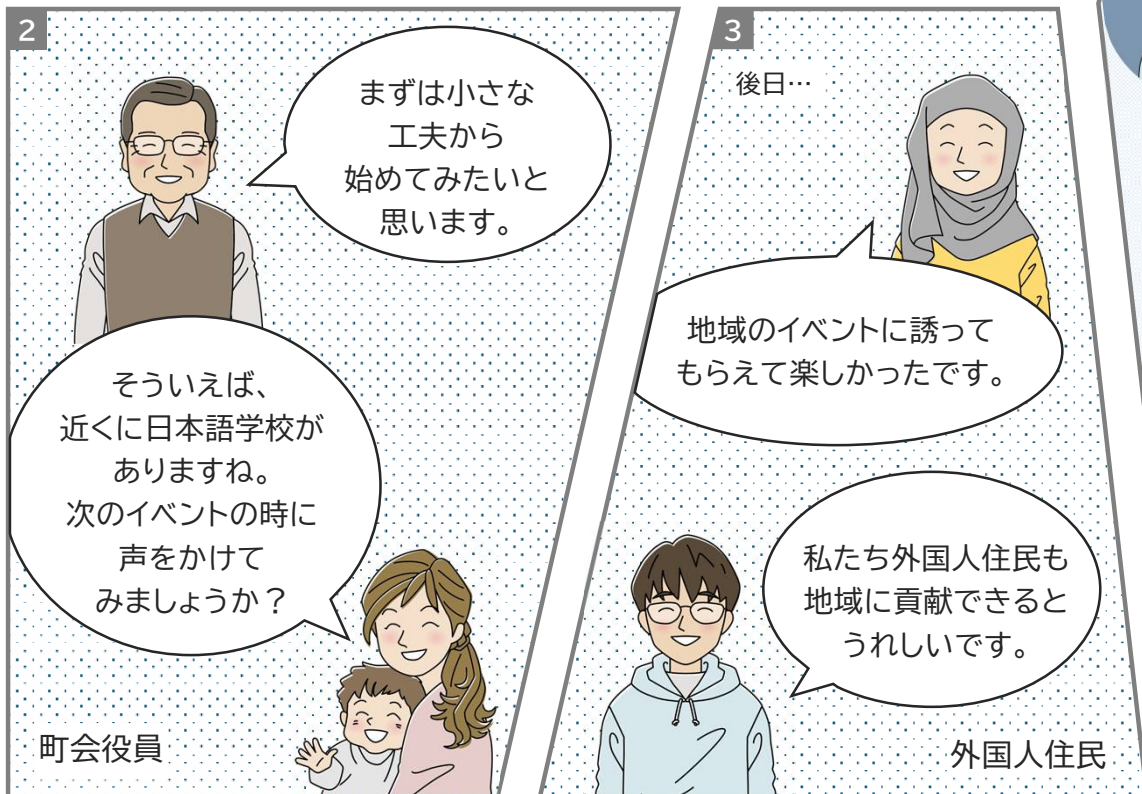
説明 5分

クイズ 2分×5問

準備物

- ☐ クイズ
- ☐ (景品)

おわりに





知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION CENTER

2025年3月 発行

発行元 大阪市市民局ダイバーシティ推進室人権企画課

〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号 Tel: 06-6208-7623

制作者 一般財団法人日本国際協力センター(JICE)

大阪市 多文化共生のまちづくり



大阪市ホームページ